

府係打合ツ高ツ高人參アリシカ若席務事ハ在港右舷出船シトト高
改ムセキニシル制度規定、曰新對照及他命社規定ト、比數ツ説明
シテルノ海軍、海軍社人經滿裝備、市制、下ニ改ムマ行シ若シ高貞
等カ不平勅諭ヲ來以拂后人矣、不艮分子ト日スル者ヲ漸然減
首タルノ子供トエ想像セラル、並時節船屬貞中凡傾分子潛
在シ高人參家アリ、若シ左傾分子ノ跋扈スルニ於テハ政務引
御助金ツ停止シタルカ如キ不アリテ入東大泊駿ナリト考慮スル必
リ矣結果斯ク政区セテレキト思推ス故、斯ル手段ニ集シ勅諭
不時ハ始ミ一泊岸ニ寄ルニ左舷ナリト主謀高ノ指日景ノ策
勅等ヲ説明シテ鎮腹ニ備ナリ他面外音午後七時ヨリ
主部腰上、乘ル八日仲戸庄前ニ開膳シテアルニ評議會ニ对スル
支那懇親、付キ在港船舶、評議會ヲ召集シ支那評議

員備焉高雅ニナルリ出席者大約四十名、蓋シ艦内支那長官庄役ト
海軍本部與亦席上共居、今四日回覈ニ存ナ前顯者彼ノ子孫
ノ子孫中既明ツ高シ出席者何してシテ、頗る意ヲ表レ各自の船ノ
配下ヲ署、或スルトテ申后鮮散シキ事、莫アリ、而シテ全組
高若シ不祥事件共鷹洋下船スルアリ時ハ、會社ノ胸メニ人質ノ浦
底ナ爲シ餘リ、至會社ノソニ長入ヘテ應度ヲ示シワヤリ
一 日下當港艘泊、鄭船辰社所屬熟人別記、通りナルカ在港汽船
中水五日午後一時出帆セル、市丸人何等、鄭艦モ譲メサリレニ
安洋九八年正午頃一時少シ、勅諭ノ北ヨリレカ天祥丸カ其
事神戸港ヲ出帆シテル、接スルト共ニ平靜、復シ現在、
於テ八日翌午船昇リ、高人者無シ、比較的平靜、狀況ナリ

右乃中(通)報也